

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月 25 日
札幌市立手稲山口小学校

1 今年度の重点目標

みんなが幸せになれる あったかい楽しい学校
～えがおいっぱい 山口ってあったかい！～

2 本年度の経営方針

【実践のキーワード1】「自分が大切にされている」と実感し安心できる指導の充実
【実践のキーワード2】子どもが主体的に考え、取り組む、創意ある教育課程

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価						学校関係者評価																																		
		達成状況	評価の理由と改善の方策						自己評価の適切さ	改善策の適切さ																																
学ぶ力の育成	<p>子どもは、「自分の意見を進んで発言しようとしている」か。</p> <p>◆個に応じた「分かる・できる・楽しい」授業の創造 ◆専科指導の充実 ◆学級活動、委員会、クラブ活動における主体性の醸成</p>	A	<p>【学習などについてのアンケート】 自分の意見を進んで発言しようとしている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>82.4%</td> <td>76.1%</td> <td>86.9%</td> <td>74.4%</td> <td>63.9%</td> <td>55.4%</td> <td>72.9%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>68.1%</td> <td>79.5%</td> <td>83.1%</td> <td>59.0%</td> <td>66.1%</td> <td>63.2%</td> <td>69.2%</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>77.2%</td> <td>77.4%</td> <td>79.5%</td> <td>66.0%</td> <td>78.3%</td> <td>60.9%</td> <td>73.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度 11 月に開催した教育実践発表会へ向けての教職員の学びが、「個に応じた『分かる・できる・楽しい』授業の創造」を実現し、子どもの主体性を伸長するに至った。 次年度へ向け、基礎学力の定着、授業と家庭学習の連携、家庭学習の在り方について見直し、新たな手を打つことで、子どもの力をさらに伸ばしていく。</p>							1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	R5	82.4%	76.1%	86.9%	74.4%	63.9%	55.4%	72.9%	R6	68.1%	79.5%	83.1%	59.0%	66.1%	63.2%	69.2%	R7	77.2%	77.4%	79.5%	66.0%	78.3%	60.9%	73.0%	A	A
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																																		
R5	82.4%	76.1%	86.9%	74.4%	63.9%	55.4%	72.9%																																			
R6	68.1%	79.5%	83.1%	59.0%	66.1%	63.2%	69.2%																																			
R7	77.2%	77.4%	79.5%	66.0%	78.3%	60.9%	73.0%																																			
	学校関係者評価委員による意見		<p>・教育実践発表会では、子どもたちが主体的に学ぶ姿があった。これは日常のよい実践があってこそその姿である。 ・座学だけでなく「本物の体験」の重視を具現化した教育活動が行われている。</p>																																							
豊かな心の育成	<p>子どもは、「自分が必要とされていると感じている」か</p> <p>◆アロハの充実 ◆道徳教育の充実 ◆いじめに対する察知力の向上</p>	B	<p>【学習などについてのアンケート】 自分が必要とされていると感じる。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>85.1%</td> <td>71.6%</td> <td>86.9%</td> <td>69.8%</td> <td>75.3%</td> <td>58.4%</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>74.5%</td> <td>75.9%</td> <td>70.8%</td> <td>65.7%</td> <td>54.8%</td> <td>86.3%</td> <td>72.2%</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>84.8%</td> <td>73.1%</td> <td>70.5%</td> <td>82.5%</td> <td>76.4%</td> <td>67.4%</td> <td>75.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>授業参観で年 1 回道徳の授業を公開し、道徳教育の充実に迫ろうと考えたが、教職員の満足度と保護者の要求度合いに違いが見られた。校内いじめ防止対策委員会を月に 1 回実施し、シャボテンログやいじめアンケート、QUアンケートをもとに子どもひとりひとりの心の理解に努めてきた。 次年度も、本校の子どもたちがもっている「優しさ」の上に、どんな豊かな心を伸ばすのかを明確にし、さらなる道徳教育の充実を目指す。</p>							1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	R5	85.1%	71.6%	86.9%	69.8%	75.3%	58.4%	74.3%	R6	74.5%	75.9%	70.8%	65.7%	54.8%	86.3%	72.2%	R7	84.8%	73.1%	70.5%	82.5%	76.4%	67.4%	75.8%	A	A
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																																			
R5	85.1%	71.6%	86.9%	69.8%	75.3%	58.4%	74.3%																																			
R6	74.5%	75.9%	70.8%	65.7%	54.8%	86.3%	72.2%																																			
R7	84.8%	73.1%	70.5%	82.5%	76.4%	67.4%	75.8%																																			

	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人は優しいが、集団となると流される傾向も感じられる。相手を思いやる心、よりよい判断をする力が、どのような時も発揮されるとよい。 「子どもの正義」は「家庭の正義」の表れである。大切にすべき考え方について、家庭と共有していくことが望まれる。 																																		
健やかな体の育成	<p>子どもは、「健康のために、自分には何が必要かを考えて生活しようとしている」か</p> <p>◆運動の楽しさの醸成 ◆命を大切にされた指導への出前授業の活用 ◆子どもの人権を大切に作る指導の充実</p>	<p>【学習などについてのアンケート】 健康のために、自分には何が必要かを考えて生活しようとしている。</p> <table border="1" data-bbox="491 353 1318 562"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>75.7%</td> <td>83.0%</td> <td>90.7%</td> <td>86.0%</td> <td>82.5%</td> <td>67.3%</td> <td>81.0%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>92.6%</td> <td>85.5%</td> <td>89.9%</td> <td>74.3%</td> <td>83.9%</td> <td>86.3%</td> <td>85.2%</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>82.3%</td> <td>83.9%</td> <td>87.2%</td> <td>82.5%</td> <td>83.0%</td> <td>88.0%</td> <td>84.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通安全教室や健康に関わる出前授業により、命を守ること、大切にすることへの意識が高まった。また、今年度初めて実施した全学年による人権教室によって、自分も相手も大切に作る心を育てることができた。 次年度は、運動の嫌いな子や苦手な子の運動に対する楽しさを醸成する「なわの日」「やまっこアクティブタイム」「体育の授業」の在り方を模索していく。</p>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	R5	75.7%	83.0%	90.7%	86.0%	82.5%	67.3%	81.0%	R6	92.6%	85.5%	89.9%	74.3%	83.9%	86.3%	85.2%	R7	82.3%	83.9%	87.2%	82.5%	83.0%	88.0%	84.4%	A	A
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																													
R5	75.7%	83.0%	90.7%	86.0%	82.5%	67.3%	81.0%																													
R6	92.6%	85.5%	89.9%	74.3%	83.9%	86.3%	85.2%																													
R7	82.3%	83.9%	87.2%	82.5%	83.0%	88.0%	84.4%																													
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 時間、空間、仲間の「三間」を継続して充実させてもらいたい。 体力向上を伸ばす活動を今後も続けてほしい。 																																		
信頼される学校の創造	<p>子どもは、「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」か。</p> <p>◆専門性の向上 ◆保護者、地域、関係機関との連携 ◆教育課程の改善、充実における信頼される学校づくり</p>	<p>【学習などについてのアンケート】 自分が思っていることや感じていることを人に伝えている。</p> <table border="1" data-bbox="491 1014 1318 1223"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>全校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>79.7%</td> <td>70.5%</td> <td>74.8%</td> <td>72.1%</td> <td>83.5%</td> <td>66.3%</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>72.3%</td> <td>78.3%</td> <td>80.9%</td> <td>67.6%</td> <td>69.4%</td> <td>81.1%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>77.2%</td> <td>82.8%</td> <td>75.6%</td> <td>69.1%</td> <td>80.2%</td> <td>78.3%</td> <td>77.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学級担任が限られた時間の中でも子どもと丁寧に接したことや、新しくなった校内システム等使って情報をすぐに共有したことで、子どもにも保護者にも信頼を得つつある。 次年度は、更に学級担任が子どもと向き合える時間を確保すべく改善し教育課程の見直しを図っていく。</p>		1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	R5	79.7%	70.5%	74.8%	72.1%	83.5%	66.3%	74.3%	R6	72.3%	78.3%	80.9%	67.6%	69.4%	81.1%	75.0%	R7	77.2%	82.8%	75.6%	69.1%	80.2%	78.3%	77.2%	A	A
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校																													
R5	79.7%	70.5%	74.8%	72.1%	83.5%	66.3%	74.3%																													
R6	72.3%	78.3%	80.9%	67.6%	69.4%	81.1%	75.0%																													
R7	77.2%	82.8%	75.6%	69.1%	80.2%	78.3%	77.2%																													
	学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> 教職員が一生懸命取り組んでいることを感じる。 共働き世帯が多い昨今、保護者が学校に関わることの難しさがある。保護者への発信の仕方、保護者の教育活動への参加など、手立てを検討するとよい。 																																		